

編：日本皮膚科学会

実践！ 皮膚病理道場

バーチャルスライドでみる皮膚腫瘍 [Web 付録付]

書評者：田中 勝(東京女子医大東医療センター教授・皮膚科)

日本皮膚科学会の編集による、まったく新しいタイプの皮膚病理入門のための貴重な1冊がついに出了！

各章の執筆者が、現在、皮膚病理診断の中心で活躍している経験豊富な6名、最も頼れる皮膚病理指導医たちである。したがって、全ての章が必要最小限の簡潔で明快な記述で構成されており、病理診断のポイントがとてもわかりやすい。なんと贅沢な本であろうか。

1. バーチャルスライドが Web で見られる点が画期的！

この本は間違いなく、今までにないタイプの本である。すなわち、掲載されている病理画像を全て、Web 上で、バーチャルスライドとして確認できるのである。したがって、本書を見ながら、日本皮膚科学会総会の教育講演「実践！ 皮膚病理道場」で習ったことの復習もできるし、参加できなかった人でも、まるでその場において質問したことを教えてくれるかのような、丁寧な解説を読みながらバーチャルスライドを見ることが可能になっているのだ。

2. 日本皮膚科学会総会の教育講演「実践！ 皮膚病理道場」と密接にリンクしている！

2013 年の日本皮膚科学会総会から始まった「実践！ 皮膚病理道場」(以下、「道場」)は、今までにない画期的な皮膚病理入門の場であった。今までは教育講演を聞いて受動的に学ぶことが多かったのが、「道場」では、自ら PC のバーチャルスライドを見て能動的に学び、わからない点があればチューターに聞くことができるという、まさに両方向性の学習が可能になったのである。それが、本書の登場でさらに素晴らしい皮膚病理入門の場となったと言えよう。本書を開けば一見してわかる美しい写真と矢印や丸囲みを使った明快的な解説が示されている。さらに、「写真が小さくて見えない！」という場合でも、Web 上に用意されたバーチャル画像にアクセスすることで解決できるのである。

3. 腫瘍ごとに学ぶべきポイントが明確に示されている！

本書がこれまでの教科書と異なる点はもう1つ。皮膚病理所見の

みを扱っている点である。臨床情報もなければ文献もない。だからこそ、病理所見にスッと入っているのである。先頭に病理診断のポイントが箇条書きに示されており、これから学ぼうとしているポイントが明解である。しかも、皮膚科における日常的な臨床病理カンファレンスで扱われる皮膚腫瘍をほぼ網羅しているのありがたい。

4. 指導医にも勧めたい！

本書はこれから皮膚病理に入門する研修医のみならず、指導医層にも勧めたいと思う。なぜなら、教育する側の立場で考えても、教えるべきポイントがはっきりと示されているのだから。というわけで、私も医局員に皮膚病理ティーチングする際に、本書を100%利用したい！と思った。

● A4 頁200 2015 年
定価：本体 12,000 円＋税
[ISBN978-4-260-02118-0]
医学書院刊